

国連ウィメン日本協会 おおさかニュース vol.5

発行：国連ウィメン日本協会大阪

発行：2022.5月

女性・平和・安全保障(WPS) — 女性が意思決定に参加する —



樋川 和子さん

大阪女学院大学・大学院教授、日本国際問題研究所客員研究員。

2019年末、24年余り務めた外務省を退職。外務省時代に女性参画推進室首席事務官(2017年7月～2019年12月)としてWPSアジェンダに取り組んだことをきっかけに、この分野での研究を続けている。



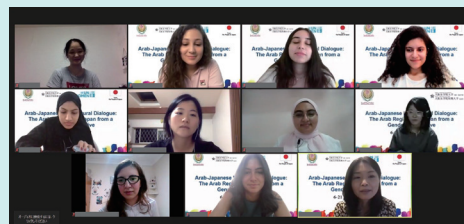
2000年10月に国連安全保障理事会が、「平和・安全保障」と「女性」を関連付けた決議1325号を採択してから22年あまりが経とうとしています。安保理決議1325号(通常、「いちさんにごよう」と呼びます)は、紛争解決、平和構築、平和維持、安全保障において、女性を単に保護や救済の対象としてではなく、「意思決定に参加すべき主体」と捉えたことで画期的といわれた決議です。安保理決議1325号(今日では、「女性・平和・安全保障(WPS: Women, Peace and Security)に関する安保理決議」とも呼ばれます)の採択以降、国連加盟各国は、その実施を促進すべく様々な取り組みを行なっています。

2015年～2017年、私がイラクのバグダッドで勤務をしていた時に、バングーラ国連女性機関事務局長(当時)がイラクを訪問し、イラクの女性団体と意見交換する場に同席させて頂く機会がありました。その場でイラクの女性たちが何度も口にしたのが、1325号です。国内紛争下にあるイラクにおいてこの安保理決議に関する認知度は日本よりはるかに高いものがあると感じました。確かに、1325号の柱の一つである被害者の救済を考えた場合、紛争の直接的被害を受けているイラクの女性たちにとって、この決議はより重要なものと位置づけられるかもしれません。しかし冒頭でも述べたとおり、この決議のもともとの趣旨はそれまで保護や救済の対象としか捉えられてこなかった女性を、平和を達成するための主体的な意思決定者としてとらえる、すなわち

「女性を意思決定に参加させる」ということにあつたはず。その意味から考えると、被害者とはなっていないなくても平和・安全保障のための意思決定プロセスに女性がもっと参画するという点において、日本の女性たちにもこの決議の意義をもっと知ってもらう必要があるのではと思います。特に、安全保障というと日本の女性はあまり関心を示さない傾向があるようです。安全が保障されて初めて平和が確保できる、この考え方の下、より多くの日本の女性が安全保障についてもっと関心をもち、学び、意思決定に参加できるようになることが重要です。

ウクライナ情勢を受けて、特にこのことを強く感じます。国連女性機関は女性・平和・安全保障の分野で様々な取り組みを行なっていますので、是非この機会にウェブサイト等で情報をチェックしてみてくださいと思います。

繋がる、
共に学ぶ



2021年に樋川さんが立ち上げたアラブ女性機関と大阪女学院大学との協力プロジェクト(エリア・スタディーズArab and Japan Societies from a Gender Perspective)の様子

このプロジェクトでは、戦争や紛争を身近に感じる機会の少ない日本の学生が、アラブの若者たちと交流することで、彼らの置かれている状況を知り、安全保障について関心を持ってもらうことも目的のひとつとしている。学生同士の交流を通して、お互いに学びを深める機会となった。



新事務局長 シマ・サミ・バホス氏が就任

2021年9月、加盟国ならびに執行理事会との協議を経て、グテーレス国連事務総長は、UN Womenの新たな事務局長を指名しました。ミチェル・バチエレ、プムズィレ・ムランボ＝ヌクカに続く3人目の事務局長、シマ・サミ・バホス氏です。



Photo: UN Photo/Evan Schneider

ヨルダン出身のバホス氏は、2008年から2012年までアラブ諸国連盟の事務総長補佐兼社会開発局長、2012年から2016年まで国連開発計画の総裁補佐兼アラブ局長を務めた後、ヨルダン国連代表部の常駐代表を経てUN Womenの事務局長に就任しました。

今回のウクライナ危機に対し、バホス事務局長は、3月30日に発表した声明で以下のように述べ、「戦争は今、直ちに止めるべきだ」と訴えました。

ウクライナから避難を余儀なくされた人々の約90%を占める女性と少女は、人身売買、性的暴力、ジェンダーに基づく暴力など、ジェンダーに特有のリスクにさらされています。ウクライナや近隣諸国の女性団体は、戦火を逃れた女性と少女への支援に中心的な役割を果たし、食糧と避難所、法的支援、精神衛生支援、避難中や移動中の人々への支援を提供しています。

私たちは、女性の優先的ニーズが確実に満たされるように努力しています。避難所へのアクセス、食糧、医薬品、衛生用品、宿泊施設、水・電力へのアクセス、そして仕事や収入の確保を含む生計手段へのアクセス支援をおこなっています。

(国連ウィメン日本協会ウェブサイトより)

いまだに先が見えないコロナウイルスとの闘いに加え、ロシアによるウクライナへの武力侵攻という危機と向き合う日々が続いていますが、そのどちらもが女性に甚大な影響を与えています。ケアワークの増加は不均衡に女性の肩にのしかかり、ジェンダーに基づく暴力が悪化しています。既に、武力紛争下の女性に対する暴力が報告されています。

世界の女性と少女が安心と自由と平和を手にすることができるよう、皆様のお気持ちを託していただけましたら幸いです。

国連ウィメン日本協会大阪会長 三輪 敦子



Photo: UN Women/Aurel Obreja

UN Womenでは、ウクライナの女性と少女を支援するためウクライナ支援キャンペーンを展開しています。詳細は、国連ウィメン日本協会のホームページをご覧ください。



#平等を目指す全ての世代 ジェンダー平等を考えよう！



2021年3月と7月に、UN Womenおよび、メキシコ、フランス両政府が共同で、ジェンダー平等を目指す全ての世代フォーラム（Generation Equality Forum-GEF）が開催されました。この国際会議ではジェンダー平等達成を2026年までに加速させるためのグローバルな5年計画が発表され、具体的な行動を起こすために6つのテーマ別の行動連合（Action Coalition）を立ち上げました。アクション・コアリションとは、ジェンダー平等の実現のために行動を起こす連合体のことで、各国政府、市民団体、民間企業、国連機関、国際機関やユース団体を含むさまざまなステークホルダーで構成されています。これらを元に、団体が連帯し、目標の達成をめざします。年齢や国籍、ジェンダーに関わらず、世代を超えて全ての人が手をとりあい、あらゆる方面で平等な社会の実現とその世界を、現実のものとしませんか。

6つの行動連合（アクションコアリション）

- ①ジェンダーに基づく暴力
- ②経済的正義と権利
- ③からだの自己決定権および性と生殖に関する健康と権利
- ④気候正義のためのフェミニスト的行動
- ⑤ジェンダー平等のための技術と革新
- ⑥フェミニズム運動とリーダーシップ

#平等を目指す
全ての世代に
参加しませんか

SNS上で
#平等を目指す全ての世代
#GenerationEquality
ハッシュタグを使い、
あなたのジェンダー平等への
取り組みや目標をシェア！

女性の権利や
人権について、SNSで
おもしろい投稿を
見つけたら、
いいね！やシェア！





「じんけんシネマ2021」 2021年12月5日(日)

会場：クレオ大阪中央 セミナーホール

主催：クレオ大阪中央、ヒューライツ大阪 共催：国連ウィメン日本協会大阪

2021年12月5日(日)に、クレオ大阪中央にて、ヒューライツ大阪とクレオ大阪中央主催の「じんけんシネマ」が開催され、国連ウィメン日本協会大阪も共催団体としてブース出展をしました。

当イベントは、毎年12月の人権週間に合わせて開催されており、今年で4回目の開催になります。今年度は、『こどもしょくどう』(2018年/日本)と、『未来を花束にして』(2015年/イギリス)の2作品を上映しました。

『こどもしょくどう』は、貧困や育児放棄に苦しむ子どもたちの姿と、その背景にある社会状況を、子どもたちの視点で描いた映画です。

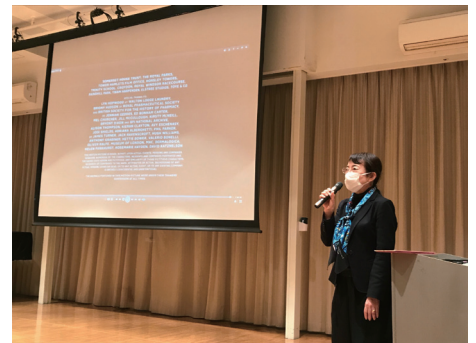
日本国内には、貧しい子どもたちに無料、または少額で食事を提供する「子ども食堂」が、約6,000ヶ所あると言われていています(2021年時点)。それは、現代の日本社会において、多くの子どもたちが貧困問題に直面させられていることを意味しています。「食べることは命、食べることはつながり」。エンディングで流れた映画の主題歌であるこのフレーズがとても印象的でした。



『未来を花束にして』は、女性の権利が認められていなかった20世紀初頭のイギリスで、参政権を求めて闘った勇氣ある女性たちの実話をもとにした映画です。

一生懸命に働き、子育てをする主人公モードが、女性活動家たちの言葉や行動に触れ、世の中に疑問を感じ目覚めていく姿が描かれています。参政権がある時代に生まれた私たちにとっては、当然の権利として享受していますが、人権が尊重される社会を作る過程には、この映画の女性達のように、命がけで闘った苦難の歴史があることを忘れてはならないと感じました。

参加された方からは、「様々な環境で生きる子どもたちがいることを知りました」「誰にとっても安心できる場所が必要だと感じました」「苦しんでいる子どもたちに寄り添いたかったです」「(こどもしょくどう)、「女性の参政権を勝ち取るために、女性の涙ぐましい努力があったのだと知りました」「今は当たり前にある参政権、大切にしたいと思います」(未来を花束にして)、などの感想をいただきました。



「SDGsフェスタ」 「クレオ大阪中央フェスタ」

2021年10月23日(土) 会場：クレオ大阪東

2021年11月20日(土) 会場：クレオ大阪中央

クレオ大阪東で開催された「SDGsフェスタ」と、クレオ大阪中央で開催された、年に一度の館まつり

「フェスタ」に、国連ウィメン日本協会大阪としてブース出展をしました。両日ともに晴天に恵まれ、地元の名店や手作り雑貨の販売、ワークショップなどの催しが開催され、明るい雰囲気の中で、私たちもイベントを楽しみながら参加させていただきました。国連ウィメンのブースにも多くの方に立ち寄っていただき、活動紹介やグッズ販売、募金活動を行いました。



SDGs フェスタ



クレオ大阪中央フェスタ



2021年度、募金及び会費収入は、157,442円でした。
温かいご支援とご協力をありがとうございました。

2021年度、「会費」及び「寄付金」納入者一覧（2021年1月1日～12月31日）

*お名前の公表を了承いただいた方のみ、掲載させていただいております。（五十音順に掲載）

伊藤 裕美 様	沢田 薫 様	橋場 由見子 様	森屋 裕子 様
上杉 孝實 様	鹿野 幸枝 様	榛木 恵子 様	山内 千鶴子 様
大阪市地域女性団体協議会 様	田中 多津子 様	藤原 劭子 様	山川 文子 様
小原 純子 様	田村 まき 様	堀口 良子 様	山本 愛 様
木下 孝祐 様	中村 友美 様	松田 洋子 様	山本 いづみ 様 他
佐伯 一美 様	野々村 節子 様	松村 英子 様	

新理事紹介

大阪市男女いきいき財団の沢田薫です。横浜市の男女共同参画センターに勤務後、出産のためUターンで大阪に戻り1993年に設立された当財団に転職しました。当時1歳の娘が大人になる頃には男女平等がどれだけ進むだろうと思っていました。娘夫婦の育児はワンオペではなく共に奮闘しています。進んだ面も感じる一方、新型コロナウイルス感染拡大は女性により深刻な影響を及ぼし、ジェンダー平等の道のりが遠いことがわかりました。現下のウクライナにおける戦争は女性と女兒に危機をもたらしています。このような状況下ですが、私は、世界人権宣言の起草に関わったエレノア・ルーズベルトの言葉を大切にしています。

「未来は美しい夢を信じる人のためにあります。」The future belongs to those who believe in the beauty of their dreams. 皆さんと共にアクションを起こしていきたいと思えます(なるべく楽しく！)。どうぞよろしくお願いいたします。



沢田 薫さん
(大阪市男女いきいき財団 事務局長)



瀬戸口 恵美子さん
(公益財団法人太平洋人材交流センター国際交流部長)

太平洋人材交流センター(PREX)の瀬戸口恵美子です。このたび国連ウィメン日本協会大阪に理事として参加させて頂くこととなりました。PREXは開発途上国の人材育成事業と関西の国際化に貢献するための事業を推進しています。私自身も途上国のよりよい発展、さらに世界の平和を願って仕事をしてきました。仕事で出会った途上国で活躍する女性たちの姿は、日本が学ぶべきことも多くあると思う一方で、社会の仕組みにジェンダー平等が十分に考慮されていない国もまだ多いと感じます。よりよい社会、平和な世界には、女性のエンパワメントが欠かせないと思います。これからは、その思いを形にできる場に関わるとワクワクしています。国連ウィメンの活動やその意義をより多くの方にお届けし賛同の輪を広げられるよう、これまでの自分自身の経験も活かしながら、貢献したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

危機的な状況に置かれている
ウクライナの女性と少女を支援する
ため、募金を呼びかけました。



募金額 2022.3月

90,340円

温かいご支援を
ありがとうございました。

いただいた募金は、UN Women(国連女性機関)を通じて、困難に直面しているウクライナの女性と少女にお届けします。

世界の女性とつながろう

国連ウィメン日本協会大阪 入会案内

国連ウィメン日本協会大阪は、女性のための国連機関であるUN WOMENを大阪から支援する団体です。皆さまからの募金、及び活動の純益は、UN WOMENを通じ、世界の女性と少女のために使われます。

会員募集

年会費(1月1日～12月31日)

個人会費：2,000円(1口)

法人会費：5,000円(1口)

ご寄付・会費お振込み先

郵便振替口座

口座番号：00900-9-207691

口座名義：国連ウィメン日本協会大阪

世界の女性と少女の笑顔と未来を
大阪から支えるために、
是非お力をお貸しください！



国連ウィメン日本協会大阪 事務局

〒543-0002

大阪市天王寺区上汐5-6-25

大阪市男女いきいき財団内

TEL：06-7656-9040 FAX：06-7656-9045

HP：https://danjo.osaka.jp/unwomensaka/

